

12月定例教育委員会議事録

- 1 開催日 平成30年12月20日(木)
- 2 会場 大井川庁舎 2階 第3委員会室
- 3 開会 午後3時00分
- 4 出席委員 佐藤美代志教育長
大石智之委員(職務代理者)
北川利男委員
奥川重子委員
山竹葉子委員
- 5 会議出席者 中野俊光教育委員会事務局長
見原照久こども未来部長
小長谷宏二(公財)焼津市振興公社常務理事兼焼津文化会館長
橋本敏明教育総務課長
近藤和人学校教育課長
鈴木孝之学校給食課長
富田明裕社会教育課長
杉本弘行文化財課長
志賀美之図書課長
増田洋一保育・幼稚園課長
石川壽男ディスカバリーパーク焼津館長

書記 日下部充教育総務課総務担当主幹
- 6 議事 別紙のとおり

<p>佐藤教育長</p>	<p>【午後 3 時 00 分開会】</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>年末の本当にお忙しい中、12 月の定例教育委員会にお集まりいただき、ありがとうございます。それでは、12 月の定例教育委員会を只今より始めさせていただきます。本日の議事録署名人は大石委員と山竹委員となりますので、よろしく願いいたします。それでは、議事に入ります。議第 14 号「平成 31 年度教育費当初予算要求主要事業（案）について」説明をお願いします。</p>
<p>中野事務局長</p>	<p>(事前配付資料により説明)</p> <p>(説明概要)</p> <p>教育委員会事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教育環境整備事業費（45,644 千円） <ul style="list-style-type: none"> 焼津地区 10 小学校の児童用机・椅子の更新、焼津東小の教室内ロッカー改修、大富小・和田小・小川小の昇降口下足入れ更新 ・ 中学校教育環境整備事業費（25,040 千円） <ul style="list-style-type: none"> 中学校 9 校の生徒用机・椅子の更新、焼津中学校の昇降口下足入れ更新 ・ 小中学校教育 I C T 環境整備事業（17,311 千円） <ul style="list-style-type: none"> 小学校 13 校の普通教室及び理科室に電子黒板 277 台、書画カメラ 258 台を設置 ・ 小学校猛暑災害対策事業（637,800 千円 小学校 12 校の 388 室に空調を整備）、中学校猛暑災害対策事業（499,135 千円 中学校 9 校の 242 室に空調を整備）及び、こども未来部の幼稚園猛暑災害対策事業費（大富幼稚園、東益津幼稚園、さつき幼稚園の普通教室及び多目的室に空調を整備）については、国の交付金内示により平成 30 年度予算に一括計上したため削除する。 ・ 教育センター事業費（6,998 千円） <ul style="list-style-type: none"> 学習支援コーディネーター増員 ・ 小学校低学年学校生活安定事業費（33,147 千円） <ul style="list-style-type: none"> 低学年サポーター42 人の配置 ・ 外国人児童生徒教育支援事業費（13,783 千円） <ul style="list-style-type: none"> 外国人児童生徒への日本語指導、学習支援 ・ 学校給食調理費（113,337 千円） <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した学校給食センターの食器及び設備の更新 市内小中学校への給食配送を 6 月から 12 月の間は保冷機能搭載車を 1 台追加して配送 ・ 再編方針策定事業費（9,788 千円） <ul style="list-style-type: none"> 給食センター再編方針策定に向けての調査委託料 ・ 学校給食猛暑災害対策事業費（14,350 千円） <ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校への給食配送を保冷車で行う ・ 豊田地域交流拠点整備事業（49,126 千円）

見原こども未来部長	<p>豊田地域交流拠点施設整備事業における委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花沢地区伝統的建造物群保存対策事業（40,662千円） 法華寺本堂保存修理等 ・花沢地区ビジターセンター整備事業（71,656千円） 花沢地区内に現存する伝統的建造物を活用したビジターセンターの整備 ・図書館図書資料購入事業（26,500千円） 焼津図書館、大井川図書館の図書資料購入費 <p>こども未来部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園使用料（歳入 7,721千円） 平成31年度10月から予定されている幼児教育無償化に伴い、公立幼稚園使用料を10月以降無償とする ・指導力向上支援事業費（866千円） 幼稚園・保育所職員への研修費 ・幼稚園舎等工事費（706千円） 大井川西幼稚園フェンス取替工事及び舗装工事 ・幼保連携認定こども園移行事業費 大富幼稚園及びさつき幼稚園を平成32年4月に幼保連携認定こども園（3号認定を除く）に移行するための事業費を追加要求予定
佐藤教育長	<p>（保冷車について補足説明）</p> <p>保冷車は作り替えるのに時間を要するため、再来年の夏に間に合うように対応する。来年の夏は、台数を1台増やして短時間で配送する対応をとる。</p>
佐藤教育長	<p>事前に委員の皆さんから質問をいただいておりますので、順次、担当の課長の方から回答をお願いします。</p>
橋本教育総務課長	<p>まず初めに、私から回答の方をさせていただきます。奥川委員より小学校教育環境整備事業に関して、3小学校の昇降口下足入れを更新すれば、全小学校の昇降口下足入れは完成するのか。また、中学校の昇降口改修計画はあるのかとの御質問をいただきました。回答ですけれども、昇降口下足入れ更新事業は学び舎にここ元気計画の事業の一つで、平成31年度からの新しい事業になります。平成31年度は、大富小・和田小・小川小・焼津中学校を予定しています。平成34年度までに、全小中学校を完了する事業計画でいます。</p> <p>続いて二つ目です。ICT環境整備事業に関して、電子黒板の中学校への導入は、2020年度予算要求と考えてよろしいかとの御質問をいただきました。回答ですけれども、2020年度の予算要求を考えています。</p> <p>北川委員からは、平成31年度予算要求事業の内、ふるさと納税を充当することを想定している事業はありますか。もしあれば、どの事業か。また、どの</p>

<p>近藤学校教育課長</p>	<p>ような事由により充当することになったのか、具体的に教えてください。との御質問をいただきました。各課を代表して回答させていただきます。平成 31 年度当初予算内示が 1 月 11 日であるため、現時点では各課の事業において充当が確定していません。ただ、平成 31 年度当初予算編成方針で、ふるさと寄附金基金については、原則として「子育て支援事業」、「観光・交流事業」、「健康増進支援事業」に対する新規事業の財源とすることになっています。</p> <p>奥川委員から、低学年学校生活安定事業に関して、猛暑災害対策事業費が膨大であるが、本事業は、焼津市教育委員会の事業として、31 年度には完結してほしい。第一学年全ての学級のサポーター配置は、児童も保護者も教員も待ち望んでいる事業と思う。小 1 の教育充実は、義務教育 9 年間に及ぼす影響が大きいと考えるのでとの御質問をいただきました。</p> <p>低学年学校生活安定事業についてお答えいたします。本年度は新たに 13 人の低学年サポーターを任用し、これまでの倍の 26 人を配置することができました。その結果、学校からは様々な効果が報告されています。例えば、小学校 1 年生は入学当初、親離れができず、泣く子がいたり、席を離れる子どもや、給食の準備や着替えに手間取ったりすることがありますが、これらの子どもへ、担任と共に手厚い支援ができるようになりました。また、サポーターや担任が、離席や友達とのトラブルの多い子どもからじっくり話を聞くことができるようになったことによって、子ども同士のトラブルが減り、学級全体が落ち着いて学習に取り組むなど、安心して学校生活を送ることができています。さらに、男性教諭が指導しづらい女子児童の更衣、トイレ使用等の支援を充実させることができました。来年度は、市内小学校一年生の全学級に配置できるよう、予算要望をしているところです。奥川委員ご指摘のとおり、小学校低学年での安定した学校生活は、その後の学校生活の充実につながることから、引き続き、事業の重要性を訴えていきたいと思えます。</p> <p>(当日配付資料により説明)</p>
<p>増田保育・幼稚園課長</p>	<p>幼稚園連携認定こども園移行事業費に関して、奥川委員と北川委員より事前質問をいただいておりますので、一括してお答えさせていただきます。</p> <p>幼稚園連携認定こども園移行事業費に関して、認定こども園について、焼津市は他市の実施状況から検討を重ねていると聞いていたが、プラスマイナスの実態と将来を見据えてどのような考えをされたのか教えていただきたい。</p> <p>北川委員からは、大富幼稚園及びさつき幼稚園を、平成 32 年 4 月に認定こども園に移行するには、時間があまりないように感じますが、今まで検討されてきていたのか。また、今後のスケジュールについても併せて教えてくださいとの御質問をいただきました。</p> <p>9 月の定例教育委員会におきまして、北川委員の事前質問に関連して、待機児童対策の一環として、公立幼稚園の認定こども園への移行について、検討を</p>

始めている旨、説明をさせていただきました。これまでの検討経過を御説明させていただきますと、当日配付資料の1ページ目が、県が記者発表した本年4月1日現在の県内の市町別待機児童数の資料になります。これは、国の定義による待機児童数ですが、本市は昨年度と変わらず、25人で、多いほうから5番目、近隣の静岡市、藤枝市、島田市は待機児童ゼロとなっています。ちなみに、国の定義に当てはまらない、いわゆる隠れ待機児童は、各市町にも存在し、本市でも25人の待機児童以外に、160人ほどの隠れ待機児童がいます。この状況を受けて、本市では、待機児童ゼロの実現に向けた取組を、市長戦略会議の議題として、検討してきました。2ページ目の資料が、第5回市長戦略会議の資料の一部ですが、保育の需要と受け皿確保の見込みを整理したものです。まず、①の就学前児童数ですが、2013年から2018年までの4月1日現在の児童数の実績と2019年から2023年までの今後5年間の推計値になります。この推計によると、2018年の0歳児888人が、来年は844人、5年後の2023年には691人に、1・2歳児は、2,007人だったのが、来年は1,915人、5年後は1,559人に、3歳以上児は、3,253人だったのが、来年3,146人、5年後は2,734人に、全体では、6,148人が、来年は5,905人、5年後は4,984人にまで減少する見込みです。次に、②の申込児童数は、次年度の新規申込者数と既に保育所等に入所している児童のうち、次年度への継続入所が見込まれる児童との合計、③の申込率は、①の就学前児童のうちの②申込児童数の割合で、2018年までの実績では、②の申込児童数、③の申込率とも、右肩上がりが増えていきます。2019年については、すでに、来年度の第一次の入所申込み分を反映させ、ほぼ実績に近い人数になっています。2020年以降は、③の申込率の2013年から2019年までの平均増加率を考慮して、試算しています。この試算方法ですと、③の申込率は、今後も増加していきませんが、一方で就学前児童数が減少していますので、②の申込児童数については、3歳以上児の場合、2021年の1,109人をピークに減少に転じる見込みになります。次に、④の利用定員数については、2016年4月1日の1,640人が、全て認可保育所の定員数になります。2017年以降、本市では小規模保育事業の認可、企業主導型保育事業の促進などを図ってきたため、2018年4月時点の④利用定員数が1,821人であったのが、来年4月には1,943人、2020年以降は、1,979人になる見込みです。次に、⑤ですが、2018年までは入所児童数の実績、2019年度以降は、最大受入可能数を記載しています。この最大受入可能数というのは、国が待機児童対策として、児童福祉施設最低基準を満たす限りにおいて、定員を超えて積極的に児童を受入れよう求めていますので、現在の施設において、保育士が配置できれば、十分受入れが可能な人数として、設定しています。そうすると、2019年4月には、必要な保育士が配置できさえすれば、0歳児249人、1・2歳児840人、3歳以上児1,063人の合計2,152人、さらに、2020年4月には、最大受入可能数は2,188人となる見込みです。そして、⑥の確保量過不足は、2018年までは、申込児童数に対し、利用定員数が不足しており、さらに既設の保育

所において、保育士が確保できず、受入児童を制限せざるを得なかったことから、各年齢区分とも、入所できない児童が発生していました。しかしながら、2019年以降は、小規模保育事業所の新規開設により、利用定員数が増えることと、既設の保育所において、必要な保育士が配置できれば、0歳児、1・2歳児については、需要を上回る受け皿が確保できることとなります。一方で、3歳以上児については、この推計においても、まだ受け皿が不足する見込みとなっています。これは、小規模保育事業所を増やしてきた結果、小規模保育事業所が0歳から2歳までの子どもを対象とし、3歳になると卒園しなければならない施設であるため、3歳から改めて保育所の申込みをする人が増えていることが最も大きな要因だと考えられます。こうした現状分析、将来推計を踏まえた上で、さらには、現在、本市に認定こども園がないことから、他市と比べて、遅れている印象があるため、それを払拭し、本市の子育て施策のイメージアップを図るため、順次、公立幼稚園を認定こども園へ移行させることを提案しました。方法としては、静岡市が公立幼稚園を認定こども園に移行させたような3、4、5歳児のみを対象とした認定こども園を想定しています。当初の提案では、保育教諭の新規採用が必要であるため、まずは、2020年4月に大富幼稚園、2021年4月にさつき幼稚園、1年開けて2023年4月に静浜幼稚園と下藤分園の統合により、それぞれ認定こども園に移行するというものでしたが、市長戦略会議において、2020年4月に大富幼稚園とさつき幼稚園の2園同時の認定こども園への移行を目指すように指示がありました。なお、東益津幼稚園については、市長からの指示はなく、来年度の新入園児の申込が3人しかいないことや、人口推計においても東益津地区の就学前児童数の減少が他地区よりも顕著で、かつ、3歳以上児についても既存施設で十分受け皿が確保できている状況から、優先順位は低いと考えています。施設改修の面では、大富幼稚園は、2年保育のため、保育室は2部屋ですが、もともと多目的室がありますので、これを保育室に転用すれば、保育室3部屋を確保することは可能です。さつき幼稚園は、保育室が2部屋しかないため、壁のないフリースペースを保育室に改修する必要があります。給食やおやつを提供については、3歳以上児の場合、自園調理ではなく、外部搬入が認められていますので、この方法をとれば、調理室を設置する必要はありません。したがって、施設的には園舎を増築するような大規模な工事は必要なく、内部的な改修にとどまり、改修工事期間もできるだけ夏休み中を想定し、足りない部分は園児が降園したあとの午後の時間帯や土・日で調整したいと考えています。その他、施設や設備で必要になるものとしては、園舎の看板の付け替え、保育室の表示、保育備品の購入などが想定されますので、現在、追加の予算要求をすべく、見積りの依頼、備品の拾い出し作業などを進めています。認定こども園への移行に当たり、課題となるのは、保育教諭の確保であり、現在の幼稚園の職員の増員が必要となり、今後、他市のこども園の職員配置を参考に、園長とも協議しながら、必要人数を精査した上で、その分の新規採用を人事課にお願いしなければなりません。

	<p>ん。もちろん、提供する保育の内容や指導計画など、どんな園運営をしていくのかが、大変重要であり、当課の指導主事、幼稚園・保育園の園長を中心に協議し、準備していきたいと考えています。その他、認定こども園移行に伴う県への届出や条例改正などの手続きも必要になり、何をいつまでに実施しなければならないのか、まだ、具体的なスケジュールまで整理できていませんが、再来年の4月に認定こども園として開園できるように準備していきたいと考えています。</p>
佐藤教育長	<p>ありがとうございました。議事内容の説明と事前にあった質問についての回答が終わりました。まず、事前質問についての回答等につきまして、皆さんいかがだったでしょうか。</p>
奥川委員	<p>丁寧な説明ありがとうございます。いかに大変かということが良くわかりました。移行に伴う指導計画や内容をどのようにして行くのかが、指導主事・園長に課せられた大きな課題だと思いますので、是非重点的にご尽力いただきたいというのが切なる要望です。ありがとうございます。よろしくお願いします。</p>
北川委員	<p>丁寧な説明ありがとうございます。保育士の確保、潜在、掘り起こしというものはやられているのか。</p>
増田保育・幼稚園課長	<p>9月から保育者人材バンクを作り広報している。求人の登録が十何件、求職の登録が5件で、うち2人がうまくマッチングが出来たという状況です。県にも登録制度があるが、焼津市でも制度を作ってスタートしているところです。</p>
北川委員	<p>資料の中で、「資格のある嘱託職員は年齢に関わらず採用している。65歳くらいの人を採用したが、子どもの動きについていけず、すぐに辞めてしまったということがあるという。」とあったが、なかなか人の見極めも大変だなと感じました。</p>
増田保育・幼稚園課長	<p>昨日、登録に見えてくださった方も63歳の方なのでマッチングまで行くかなというところです。</p>
佐藤教育長	<p>よろしいですか。 それでは、議事内容の説明は終わりましたが、議第14号「平成31年度教育費当初予算要求主要事業（案）について」皆様の御承認をいただけますでしょうか。</p>
委員全員	<p>(異議なし)</p>

佐藤教育長	<p>ありがとうございました。承認いたします。</p> <p>次に報告事項に移ります。報告事項の1番「平成30年11月市議会定例会一般質問について」説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料、当日配付資料により説明)</p> <p>(説明要旨)</p>
中野事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ・深田議員から、熊本市の避難所を考慮した施設整備を本市でも整備されたいについて一般質問があり、市長が答弁した。 ・鈴木浩己議員から、誰一人取り残さない社会の実現を目指すSDGsの推進について一般質問があり、教育長が答弁した。 ・杉田議員から、焼津市にギャンブル場はいらぬについて一般質問があり、教育長が答弁した。 <p>以上の答弁内容について、市議会での答弁原稿に基づき読上げて説明した。</p> <p>(当日配付資料により補足説明)</p> <p>(説明要旨)</p>
佐藤教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・場外舟券売場設置問題について 場外舟券売場の概要、モーターボート競走法施行規則、過去の議会答弁内容（これまでの回答内容の要旨）、反対論の趣旨を報告した。 ・場外舟券売場問題に係る類似施設調査結果について 静岡競輪場周辺の17の教育医療施設の状況と教育環境調査、浜名湖競艇場周辺の3箇所の教育医療施設の状況と教育環境調査結果の報告をした。
佐藤教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、御意見・御質問等がありましたら、お願いします。</p>
佐藤教育長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次の報告事項に移ります。2番、「いじめ問題への対応」、3番「最近の小中学校の状況について」一括して、学校教育課長から説明をお願いします。</p> <p>(当日配付資料により説明)</p> <p>(説明要旨)</p>
近藤学校教育課長	<p>報告事項3「いじめ問題への対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での新たないじめ問題の認知件数は5件であった。 適切な対応をして、一定の解消、解消に向けて取組中となっている。 ・中学校での新たないじめ問題の認知件数は4件であった。 適切な対応をして、一定の解消、解消に向けて取組中となっている。 ・いじめ重大事態については、大きな変化なし。今後も丁寧に対応していく。

	<p>報告事項4「最近の小中学校の状況について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校は、小学生41人（昨年度38人）、中学生85人（昨年度95人）となっている。文部科学省から、昨年度の不登校出現率が報告された。中学校は、国・県と比較すると出現率が低いが、小学校は急激に増加し、県と同程度になっている。（平成26年度 小学校:国0.39% 静岡県0.5% 焼津市0.29%）各学校で、本年度の不登校の傾向を分析し、必要な支援を考え、未然防止・早期発見・チーム支援等、これまでの取組を見直して対応して行く。 ・問題行動は、小学校4件（昨年度3件）、中学校13件（昨年度9件）であった。学校外での金銭や暴力のトラブルが、小中で数件報告されている。学校外でのトラブルのため、学校が対応しなければならない問題とはいいがたいが、学校に相談があるため、実際には学校が対応している現状がある。学校ができること、家庭に任せること、警察に相談すること等、ある程度線を引いて対応していく必要がある。 ・交通事故は、小学校2件（昨年度1件）、中学校1件（昨年度1件）であった。小学校の1件は、小学生同士の自転車と徒歩による事故。小4男子が母の車から降りて道路を渡ろうとした時、小6男子の自転車と衝突。小4男子が救急搬送され、脛の骨の骨折で3週間の入院となった。 ・不審者は6件（昨年度1件）あった。9月から11月にかけて、昨年度よりも多くの不審者情報が寄せられている。暗くなる前に速やかに帰宅することや、できるだけ複数で帰宅する等の自己防衛の方法について指導していく。 ・年末の授業最終日は全校12月21日（金）、授業開始日は1月7日（月）に小学校12校と中学校全校。8日（火）に大井川南小学校となっている。
佐藤教育長	小学校1・2年生への自転車指導もしているよね。
近藤学校教育課長	学校訪問の度に話をし、校長会でもしています。
佐藤教育長	<p>よろしいでしょうか。それでは、報告事項の4番、「平成31年度学校給食費の額について」説明をお願いします。</p> <p>（事前配付資料により説明） （説明要旨）</p>
鈴木学校給食課長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度の学校給食費の額は、平成30年度と同額で当初予算要求をしている。 ・据え置きは、平成26年度に値上げしたこと、主食・牛乳・その他食材の価格が落ち着いていることから判断した。

<p>佐藤教育長</p>	<p>説明が終わりましたが、この件についてはどうでしょうか。 よろしいでしょうか。それでは、報告事項の5番、「平成31年「焼津市はたちの集い」開催について」説明をお願いします。</p> <p>(事前配付資料により説明) (説明要旨)</p>
<p>富田社会教育課長</p>	<p>・平成31年1月13日(日)に、新方式「はたちの集い」で開催する。委員の皆様には、すでに主催者としてご案内をさせていただきました。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>(補足) 初めての試みなので、1月の校長会でもお願いしていく。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>この件についてはどうでしょうか。 よろしいでしょうか。それでは、報告事項はこれで閉じさせていただきます。その他の1番、「情報誌「DISCOVERY No.94」の発行」、2番「冬の星空ガイドの発行について」及び「天文科学講演会について」説明をお願いします。</p>
<p>石川ディスカバリーパーク焼津館長</p>	<p>(事前配付資料により説明) (説明要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「DISCOVERY No.94」を発行した。 冬の特別展、冬のプラネタリウムガイド、クリスマスのプラネタリウム他の案内。 ・「冬の星空ガイド」を発行した。 ・天文科学講演会として、「宇宙生命探査～“生命の星”探しの今とこれから～」を2月4日(日)に開催する。講師：井田 茂 氏
<p>佐藤教育長</p>	<p>説明が終わりました。御意見・御質問ありますでしょうか。</p>
<p>佐藤教育長</p>	<p>それでは、以上で本日の議事は全て終了しました。全体を通して、何かありましたら、お願いします。</p> <p>よろしいですか。それでは、次回は、来年1月16日水曜日午後3時からということで、この第3委員会室で行いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは以上をもちまして、12月定例教育委員会を閉会いたします。 お疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【午後4時25分閉会】</p>